

横井小楠顕彰会



〈取り組みの内容〉

江戸時代末期から明治維新にかけて活躍し、日本の進むべき道を示した偉大な思想家の1人でもある「横井小楠」の良さをもっと沢山の方々に知ってもらいたいという目的で、顕彰会の活動を行っています。主な活動として、毎年、横井小楠の命日である2月15日に、横井小楠の偉業・功績を顕彰するために、遺髪が眠る東区沼山津の小楠公園にある墓前で「横井小楠墓前祭」を開催。横井小楠顕彰会会員をはじめ、地域の方々、秋津小・桜木小・桜木東小の児童らが参列し、遺徳を偲びます。また、2019年度には秋津小の総合の時間に読み札を考えてもらい、「かるた」を作成しました。今年の墓前祭の日には、横井小楠を訪ねて吉田松陰や坂本龍馬もやって来たという横井小楠の旧居「四時軒」が、熊本地震後の復旧工事を終え、再び開館しました。

〈取り組みの仲間集め〉

会長だけでなく、会員全員が横井小楠に関心のある方ばかりです。顕彰会の活動では「楽しく、楽に、小楠先生の遺徳を偲び顕彰する」をスローガンに進めています。中には「会員ではなかったけれども顕彰会に入りたい」という方もいらっしゃいました。そうやってメンバーが集い、楽しく笑い合いながら活動を行っています。また、顕彰会が続けられているのも、秋津まちづくりセンター・公民館、各校区の自治会、秋津校区自治協議会を中心とした地域の方々のサポートがあるからこそだと思います。



横井小楠墓前祭の様子

〈取り組みを始めようと思ったきっかけ〉

横井小楠は京都で他界後、遺骸は京都南禅寺天授庵に、遺髪は沼山津の小楠公園に埋葬されました。そして1918年（大正7年）以降、旧秋津村（今の秋津校区を中心とし、桜木・桜木東・若葉各校区の一部を含む地域）の教育界や横井小楠とも縁のある彌富家を中心として顕彰会を組織し、命日である2月15日（旧暦では1月5日）に「横井小楠墓前祭」が毎年実施され、今に至っています。

〈取り組みの意図〉

私（光岡氏）は今年度から会長に就任し、以前は副会長もしていました。横井小楠は、波乱に満ちた生涯を送り、最後には暗殺されてしまいましたが、その様々な業績は、現代にも役立つ貴重な資料になると思います。そんな地元の偉人・横井小楠に親しみを持ってもらうために、様々な活動を行っています。また、役員会をほぼ毎月行っていますが、誰かに押し付けるのではなく、それぞれに役割があり、その役割と個々の発想を大事にしています。今後も楽しみながら活動していきたいです。



横井小楠顕彰会
会長 光岡 和隆 さん

〈今後の展望〉

今年は墓前祭の夜、四時軒を舞台に、講演、若手ミュージシャンによるジャズ演奏や、行政とのタイアップでライトアップも行いましたが、今後の活動でも今回のように行政との連携を行っていきたいです。また、秋には地域の皆様と一緒に取り組む活動を考案中であり、新たな活動を増やしていけたらと思っています。さらに今後はホームページを作るなど広報にも力を入れたいと考えています。